

司式 熊田雄二牧師
奏楽 五十嵐美代枝姉妹

前 奏
開 会 招 詞

* 賛 美 歌 3:1 力の主をほめたたえまつれ

力の主をほめたたえまつれ わが心よ今しも目さめて
たてごとかきならしつ 御名をほめまつれ アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書3 罪の告白②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならないことをせず、してはならないことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。

主イエス・キリストの御名によって。アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)
罪の赦しの宣言

十 戒 祈禱書4

- あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
- あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
- あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
- 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
- あなたの父と母を敬え。
- あなたは殺してはならない。
- あなたは姦淫してはならない。
- あなたは盗んではならない。
- あなたは隣人について偽証してはならない。
- あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 3:2 救いの主をほめたたえまつれ

救いの主をほめたたえまつれ 御言葉もてわが身を励まし
悩みにかたしめたもう みいつたぐいなし アーメン

共同の祈禱 祈禱書33 役員のための祈り (定期会員総会後主日)

いつくしみ深い父なる神さま、あなたの御子イエスは仕える者の姿をとり、最後の晩餐の席で弟子たちの足を洗い、人間の誇りを拭い去ってくださいました。わたしたちも誇りを捨てて、互いに仕え合うことができますように。

特にキリストがお立てになった教会役員が、キリストの模範に倣い、愛をもってあなたの民を導くことができますように。信徒一人一人も、役員の指導に従い、教会の一致と平和に努めることができますように。(ヨハネ13、Iペトロ5、「誓約」六)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 四国中会を覚えて 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 ルカ福音書5章1-11節(新約聖書109頁)

説教・祈禱 「人間をとる漁師」 熊田雄二牧師

* 賛美歌 71 それ神はその独り子を

それ神はその独り子をたもうほどに 世を愛したまえり
すべて彼を信ずる者の滅びずしてとこしえの命を得んためなり
それ神は世を愛したためり 世を愛したまえり アーメン

* 主の祈り 祈禱書1

天にまします我らの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 66世をこぞりて

世をこぞりてほめたたえよ み栄え尽きせぬあまつ神を アーメン

* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告

I 最初の弟子たち

現代、キリストの弟子たちは数えきれないほどいますが、最初の弟子たちは3人か4人でした。ルカ福音書によれば、ペトロ、ヤコブ、ヨハネの3人、マタイ福音書とマルコ福音書によれば、ペトロとアンデレ兄弟、ヤコブとヨハネ兄弟の4人です。ペトロの弟のアンデレが入るか入らないかの違いで3人か4人でした。

12使徒がリストアップされている箇所でも、やはり、この3人か4人が先頭に並べられています。マルコ福音書によれば、ペトロ、ヤコブ、ヨハネ、マタイ福音書とルカ福音書によれば、ペトロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネです。やはり、アンデレが入るか入らないかの違いです。

アンデレは、ヨハネ福音書によれば、最初、洗礼者ヨハネの弟子でした。ある日、洗礼者ヨハネがイエス様を指さして「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」と言ったので、イエス様の弟子になりました。洗礼者ヨハネの役割は、ヨルダン川でイエス様にメシア任職の洗礼を授けることをもって終わったと見てよいでしょう。その後ヘロデ王によって牢に閉じ込められたことは、旧約預言者はヨハネまでで、いよいよメシアの登場を意味します。

ところが、ヨハネの弟子たちはその後も残り続けて、ヨハネ先生が牢屋からイエス様に質問する、質問状を持って行きました。「本当にあなたがメシアで間違いないですね。」この質問自体、問題を感じますが、ヨハネの弟子たちがイエス様の方に移らないで残り続けたことも問題を感じます。

アンデレは、洗礼者ヨハネからイエス様の方に移った弟子ですが、ペトロ、ヤコブ、ヨハネより一足早くメシアの知識がある弟子です。ペトロ、ヤコブ、ヨハネは、無学な人たちでした。ルカ文書の第二巻である使徒言行録によると、ペトロとヨハネがこう言われている箇所があります。「議員や他の者たちは、ペトロとヨハネの大胆な態度を見、しかも二人が無学な普通の人であることを知って驚き、また、イエスと一緒にいた者であるということも分かった。」(4章13節)。

つまり、主イエスの最初の弟子たちは、「無学な普通の人」なのです。他の弟子たちは、何らかの知識がある人たちでした。マタイは取税人なので、税務署の役人のように税金の知識があります。フィリポやトマスは疑い深いので、証拠による証明という知識人のおいがあります。熱心党のシモンとかイスカリオテのユダなどは政治的思想のにおいがある人たちです。

ついでながら、使徒パウロは思想家としても知識人としても第一級の人ですが、生前の主イエスに用いられることはありませんでした。復活の主イエスにお会いして、根本的に変えられなければ用いられることはありませんでした。異邦人の使徒として遣わされる前に10年以上の訓練を受けています(ガラテヤ書1-2章)。

ペトロ、ヤコブ、ヨハネは、漁師という点では、湖や魚の知識はありましたが、政治・経済の思想に関しては「においのない人」でありました。イエス様は肝心なところでは、この三人をよく連れて行かれました。山上の変貌やゲッセマネの祈りなど重大な場面で連れて行かれます。山上の変貌は、イエス様がモーセとエリヤに会って話をするという、不

思議で重要な場面です。ペトロはそこでも訳の分からないことを口走りました。ゲッセマネの祈りは、最後の晩餐のあと、イエス様が逮捕される場面です。

II 人間を取る漁師

最初の弟子たちがガリラヤ湖の漁師だったことは、マタイ・マルコ・ルカに共通しています。しかし、マタイとマルコが湖の名前をガリラヤ湖というのに対し、ルカは「ゲネサレト湖」と言っています。ヨハネ福音書では「ガリラヤ湖、すなわちティベリアス湖」と言っています(6:1)。ティベリアスは、ローマ帝国の支配下での皇帝の名前です。ガリラヤ地方のガリラヤ湖が一般的であるはずなのですが、時代と場所によって呼び名が違うことはよくあることです。

旧約聖書では「キネレト湖」と言っていて、あえて言えば「ゲネサレト湖」はこれに近いと言えます。が、ルカ福音書がテオフィロ閣下に宛てて書かれたという体裁からすると、書かれた時点でテオフィロ閣下以下ギリシャ・ローマの人たちが分かる名前でないといけなんでしょう。このように、四つの福音書は誰に宛てて書かれたかという点から読むことを念頭に置いておかななくてはなりません。

さて、主イエスが最初の弟子たちを「人間を取る漁師」と言われたのは、マタイ・マルコ・ルカに共通していますが、奇跡的な大漁のエピソードはルカだけが記しています。このエピソードが文書化されていた可能性もありますが、ルカが福音書を書いている時点で、ペトロはまだ生きていた可能性があります。だからペトロから聞く機会もあったでしょう。ペトロいわく

「俺たちがイエス様の弟子にされた時、こういうことがあったんだ。

俺たちは夜通し苦勞したが、魚が一匹も取れなかった。それでもう舟から上がって網を洗っていたんだ。そこに群衆がイエス様の話を聞こうとして押し寄せて来た。イエス様は俺の舟に乗って、岸からちょっと離れた所から群衆にお話になった。

そしてお話が終わった時、岸に帰るのかと思ったら、なんと「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなさい」とおっしゃったんだ。「先生、俺たちは夜通し苦勞したんですが、何も取れなかったんです。でも、まあ、お言葉ですからやってみましょう。」気乗りしなかったけど、やってみたら、なんと網が破れそうなほどいっぱい取れたんだ。そこで仲間に合図して、もう一そう来てもらったが、二そうとも魚がいっぱいで沈みそうになった。

ホントに驚いた。俺は恐ろしくなってイエス様の足もとにひれ伏して「主よ、私から離れてください。私は罪深い者なのです。」と言ったけど、自分でも何を言っているかわからなかった。とにかく俺たちは皆驚いた。ヤコブとヨハネも同じだった。

するとイエス様は「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。」と言われた。そこで俺たちは、すべてを捨ててイエス様に従って行った。

えっ、家族の生活はどうなるかだって？ もう誰がやっても大漁だよ。俺たちプロが夜通しやっても一匹も取れなかったんだから。」

III 人間を取る漁師の後継者たち

パウロの伝道旅行のお供をしたルカは、「大漁」を実感した町がありました。コリントです。「この町には我が民多くあり」と、主イエスは言われました。そこでパウロたち

は一年半も滞在しました。その後の歴史で、人間をとる漁師になった人は数多く起こされて、今日に至っています。パウロのように学のある人もいれば、ペトロのように学のない人もいます。

現代の「人間をとる漁師」として、日本の埼玉県上福岡の町に、ブルノギ宣教師と岩永牧師が遣わされました。1962年のことです。来年は、伝道開始60周年です。その時には、疫病の感染から抜け出して、新しい出発に備える祈りが実現していることを希望しましょう。そのためには、今年できる準備は取り組んでいきましょう。特に、今年度後半、ある程度感染が収まっているなら、教会に集まることができ、来年への取り組みは可能でしょう。

上福岡教会のあゆみ60年間の信徒たちも、何らかの形で人間をとる漁師でした。学のある人もいれば、学のない人もいます。これから人間をとる漁師になる人もいます。教会のかしら主イエス・キリストは、御自分の羊たちを集める伝道のわざを、世の終わりまで続けていかれます。熊田牧師やスパーリンク宣教師のあとも、続けていかれます。